

科目	地理B	単位数	4	学年	3	学級	全	学科	全
----	-----	-----	---	----	---	----	---	----	---

学習の到達目標	地理を系統的に学ぶことで、世界の地理的事象を包括的にとらえる。それにより、生活と環境のかかわりを、さまざまな視点で地域的に明らかにするとともに、地理的な見方や考え方を培う。
使用教科書 副教材等	新詳地理B（帝国書院） 現代地図帳（二宮書店）

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	I さまざまな地図と地理的技能 1 地理情報と地図	* 地図を通して学ぶ基本を身につける。
	5	①現代世界の地図 ②地図の種類とその利用 ③地理情報の地図化 2 地図の活用と地域調査	* 緯度経度を利用して地球上の位置の表現方法を学び、球面である地球の平面上への表現方法を理解する。 * 地図を活用して国家の領域について学習し、問題点について理解する。
	6	II 現代世界の系統地理的考察 1 自然環境 ①世界の地形 ②世界の気候 ③日本の自然の特徴と人々の生活 ④環境問題	* 世界の大地形の概要をとらえ、生活の基盤となっている地形について理解する。 * 等高線について学習する。 * 気候の違いで生活がどのような影響を受けているかについて学習する。 * 等値線について学習する。
	7	2 資源と産業 ①産業の発達と変化 ②世界の農林水産業 ③食料問題 ④世界のエネルギー・鉱産資源	* 世界の産業や文化が人々の生活とどのような関係があるのかを理解する。 * 鉱産資源の生産と流通・消費について、資源ナショナリズムとの関係に注意して、その在り方についても考えさせる。 * 農産物の生産について、気候との関係に着目させながら学習を進める。 * 世界規模のモノやヒトの流れについての理解を進める。
	9	⑤資源エネルギー問題 ⑥世界の工業 ⑦第三次産業 ⑧世界を結ぶ交通・通信	
	10	3 人口、村落・都市 ①世界の人口 ②人口問題 ③村落と都市 ④都市・居住問題	* 身近な地域の諸課題について、地域性を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身につける。 * 地形図など様々な地図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身につける。 * 身近な地域の地理的な諸課題を地域調査や結果の地図化などによってとらえ、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付ける。
	11	4 生活文化、民族・宗教 ①生活文化、民族と宗教 ②現代世界の国家 ③民族・領土問題	* 都市・村落などに関する諸事象を取り上げ、分布や動向などについて考察する。
	12	III 現代世界の地誌的考察 1 現代世界の地域区分 2 現代世界の諸地域 ①アジア ②アフリカ ③ヨーロッパ ④アメリカ ⑤オセアニア 3 現代世界と日本	* 地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解させ、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察する。 * 地球規模の問題の理解や整理のために地図や統計グラフを用いたり、その解決に際して地理的な見方・考え方を交えての考察を行う。
後期	1		
	1		
	1		
	1		
	1		
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	世界の国々や自然環境などに関心を持ち、地理の基礎知識を身に付けるために意欲的に学習に取り組んだか。作業学習などを丁寧に進められたか。	
	思考・判断・表現	地理的知識を土台にして、混沌とした世界・社会のさまざまな問題点を、広い視野に立って多角的に考察することができたか。	
	資料活用の技能	現代社会の地理的諸事象について、いろいろな資料をさまざまなメディアを通じて身に付け、考察する過程や結果を自分の言葉で適切に表現できるか。	
	知識・理解	現代社会の地理的諸事象を考察する上で必要となる基本的知識を身に付けているか。その知識を適切に自分の考察の中で生かしているか。	
	評価方法	前期は定期考査の得点と、授業における課題や作業等の内容を加味して総合的に評価する。後期は定期考査の得点と、授業における課題や作業等の内容を加味して総合的に評価し、学年の評価は前期と後期の評価を合わせて行う。	
担当教諭から	地理は空間を対象とするあらゆる学問にとって基礎的な知識を提供する科目であると同時に、文系・理系の垣根を越えた多方面の総合的な知識も要求される科目である。生きる力を養う重要な科目である。		